

3 記念ロゴ・イラストの利用について

- ・ 本日午後 1 時から許諾申請受付を開始します。
- ・ 申請の窓口や必要書類、許諾条件等は、他の一般イラストの場合と同様です。ただし、イラストを利用できるのは来年 1 月から 12 月までの 1 年間限定になります。
- ・ 詳細は、くまモンオフィシャルホームページ内「くまモンイラスト・くまもとサプライズロゴ利用の手引き」を参照ください。

4 その他参考

(1) 公募結果について

応募点数 325 点

- ・ 34 都道府県その他、香港（2 点）、台湾（2 点）からも応募あり
- ・ 最も多かったのは熊本県の 60 点
- ・ 応募人数は 222 人
- ・ 応募者の平均年齢は 43 歳。最年少は 4 歳、最年長は 81 歳
- ・ 募集期間は 7 月 8 日（月）～8 月 13 日（火）

(2) 審査について

- ①一次審査（8/19） : 325 点中 10 点を候補に選定
- ②ファン投票（9/1～9/8） : 10 点中 5 点を候補に選定
- ③最終審査（10/1） : 採用作品を選定

【審査員（順不同）】

小野副知事、小山薫堂氏、水野学氏、スザンヌ氏、小宮山雄飛氏、

【本取組みに関するお問い合わせ先】

熊本県くまモングループ 四方田、山本

TEL : 096-333-2133（内線 5263、5258）

※記念ロゴ・イラストの作者の連絡先については、くまモングループにお問い合わせください。

(別添1)



作者：内村光一さん（46）
熊本市在住
職業：アートディレクター

(作品コンセプト)

くまモン10周年のロゴを考えるにあたり、まず最初に「いままでもありがとう。これからもよろしくま。」というコンセプトを設定しました。これまで10年間くまモンを応援してくれた人々への感謝と、人々からくまモンへの感謝。そしてくまモンに託されたこれからの使命。それらをシンプルにわかりやすく、デザインに落とし込めないと考えました。

ロゴ中央、くまモンの顔に見立てた黒い円には熊本城を築城した加藤清正の家紋「蛇の目」を用い、熊本人の誇りと復興のシンボルでもある熊本城への思いを込めています。ロゴの上部に飾った10個の星は10周年をお祝いするとともに、トマトやスイカなどの「熊本の赤」と「熊本の人々の情熱」を表現しています。星の架け橋で左の1から右のhまでを繋ぎ、次の10年と言わず「次の100年(hundred)」を目指して欲しいという願いを込めました。蛇の目とくまモンの顔を組み合わせると多くの人に「くまモン10周年」をわかりやすく、親しみを抱いていただけるようなデザインとしつつ、くまモンの口をあえて外すことで復興の最中の熊本において、まだまだ安心しない「熊本県営業部長としての使命」に燃えるくまモンを表現しました。

このロゴを目にする人たちに想い想いのくまモンの表情を想像していただけたら嬉しいです。

(別添 2)



作者：蓮沼隼人さん (34)
埼玉県草加市在住
職業：デザイナー

(作品コンセプト)

10年、多様性、遊び心の三つのキーワードを軸にロゴを制作しました。

花は、多種多様な企業とコラボレーションできるくまモンの持つ多様性を表していて、企業のポテンシャルが花開いたという意味も含んでいます。

その花によって浮かび上がるくまモンは、10周年のお祝いを受けていると同時に、さまざまな人との関わりで10年歩んできたというくまモン側からの感謝の制作意図もあります。

文字はゼリービーンズのようなカラフルなお菓子をイメージしていて、クマニバーサリーとしたのは、くまモンの無邪気さのイメージから遊び心を入れてみてはどうかと思ったからです。